

ご教示願います！ SDGsの取り組み方

Vol.3

2022年現在、新型コロナウイルス感染症拡大に相まったIoTや5Gの普及加速、LED照明に代表される省エネについての提案営業、

脱炭素社会の実現（カーボンゼロ）、太陽光発電、蓄電池などエネルギー分野の発展、建築業界における働き方改革など、私達、電材業界が取り組まなければならない社会的・環境的貢献課題は、まさにSDGsの課題そのものです。

しかしながら、「SDGsを取り組みたいが、どのようにして進めていけばよいか分からない」という声を多く頂いた事から、すでにSDGsに取り組まれている会社様へ緊急取材をお願いし、SDGsとは何な

のか、取り組む事のメリットなどをお伺いし、組合員会社様のSDGs取り組み会社増へと繋げる記事を連載致します。

第3回目の今回は、兵庫単組所属の小林電工株式会社様を訪問し、小林専務取締役、SDGs推進チーム・石田リーダー、小林義昭代表取締役社長にお話を伺いました。



SDGsに取り組み、地域貢献と 業界のブランディングの向上を！

オリジナルの

SDGs取り組みポスター作成で、
社員への浸透を強化

事務局 SDGsを始められたきっかけを教えてくださいませんか？

小林専務取締役 私自身、青年会議所での活動を通して、SDGsに国や行政と共に取り組んだ経験から、企業でも行う必要性を強く感じ、始めました。世界的にも取り組まれている事ですし、取り組まない事のデメリットが今後出て来る危機感を強く感じています。

事務局 姫路市のSDGs宣言にもご登録されているとの事ですが、どんなメリットがありますか？

小林専務取締役 登録したばかりで、まだ具体的なメリットは感じていませんが、姫路市のイベントへの協力や、「姫路

市SDGs宣言書」を社内外に幅広くPR出来るので、ブランディングの向上、社員への関心や理解に繋がっています。

事務局 玄関では、SDGsのポスターをお見受けしました。社員へのSDGsの浸透工夫が凄いです。

小林専務取締役 小林電工オリジナルのポスターを作成して至る所に掲載し、SDGsのバッジもすでに社員全員へ配布済みです。また秋に行った経営方針発表会でもSDGsの推進報告を行いました。まずは、社員への意識づけという観点に力を注いでいます。

勿論、強制的に何かをさせようとしている訳ではありません。SDGsに興味・関心を持たせ、「社員全員が働きやすくなるためには？」といった意見や、「私達が出来る社会貢献とは？」という



SDGsで未来へ、つながる。

脱炭素社会の実現に貢献していきます！

太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーや、電気自動車用の急速充電器の普及推進をすることで、環境負荷の少ないまちづくりを目指しています。また、普及促進だけでなく、使い終わったものやリサイクルリソースに取り組み、これからの未来につながる循環型社会の創出を目指し、持続可能な脱炭素社会の実現に貢献していきます。

KD 小林電工株式会社

小林電工株式会社 〒470-0068 美濃市東町東町5-10-17 TEL: 079-293-1200

姫路市SDGs宣言書



小林電工株式会社
はSDGs宣言します

- 8** 職場環境を向上させ、社員一人ひとりがやりがいを持って仕事に取り組める環境を作り、労働意欲の向上に努めます。年々拡大向上し、経済発展に貢献します。
- 11** 安全で安心な電気設備の商品を積極的に提案しお届けすることにより、地域社会への貢献をし、持続可能なまちづくりを推進します。
- 12** メーカーへの発注時に環境配慮をし、商品成品の削減に努めます。在庫管理を徹底し、在庫ロスをなくします。得意先の在庫等も把握し、効率的な商品管理を目指します。
- 17** 仕入先とパートナーシップを組み、得意先の仕事づくりに貢献し、社員とビジョンを共有し、企業として成長することで、より地域社会への貢献度を上げていきます。

2019年2月1日
小林電工株式会社
代表取締役社長 小林 義昭



姫路市キャラクター しるまのひめ

意見が出やすくなると考え、雰囲気作りからスタートし、浸透具合を高めています。

事務局 SDGsに取り組みられる上で、社内ではどのような活動をされていますか？

各メンバーが日々の業務をこなしつつ、働いている上で気になった点や各社

所の女性社員から5名を選抜し、推進チームとして活動しています。毎月1回、WEB会議システムのZOOMを利用して約1時間、女性目線で推進方法を検討しています。

石田リーダー 昨年の4月から各営業



員の意見・要望を吸い上げて共有し、改善点を探っています。各営業所で、地域性や所長の考えが違うので、業務の効率化や産休などについて、毎回、有意義な意見交換ができています。

脱炭素社会の実現は、電材業界の使命

「日常生活や経済活動の中で2050年脱炭素社会の実現に向けた『ゼロカーボンシティ』の取組」を掲げています。その取り組みを進める上でもEV（電気自動車）の普及は私達の使命と感じているので、看板を掲げてP

事務局 小林電工様様の駐車場で、「EV



Rしています。社内の営業車も少しずつEVに変更しようと検討しています。

事務局 以前、全日電材連の講演で、「近い将来、電材店の駐車場内にガソリンスタンドならぬEVスタンドを設置する会社が増えるのではないか」と仰っていた先生がいましたので、想像していた未来が現実になってきたと思います、鳥肌が立ちました。

小林専務取締役 P H V用充電器は3台設置しています。現在は、得意先や電気工事店様で「充電したい」という希望があれば使用出来るようにしていますが、一般の方の使用もぜひ、検討していきたいと思います。

設置には数百万、工事費も数十万かかりましたが、3日程度で終了し、補助金も使えるので、オススメです。



事務局 DX導入に関してはいかがですか？

石田リーダー 取引先との連絡や社内会議は、ZOOMを利用して行っています。移動時間や交通費が不要になるメリットは大きいです。

また、ペーパーレス化についても決裁書類は電子決裁に変更し、FAXは一部の営業所でデータ送受信出来るようにしています。そのおかげで、紙の使用量は過去と比較し約1000枚の削減に成功しました。将来的には全営業所

に導入したいと思っています。

時間や資源の削減に繋がり、データ化した事によって、どこでも確認出来る情報漏れも無いため、非常にメリットを感じています。社内の決裁等は全てDXを活用して行なっています。

事務局 他にSDGsで取り組まれていることはありますか？

小林専務取締役 使わなくなった電動ドリルやホルソー、計測器などの工具、道具類はこの電気工事店様にも必ずあります。今まではこれを処分する場合、ゴミとしてただ捨てるだけでしたが、適切に処理すれば、リサイクル資源として生まれ変わることができます。

この工具、道具類のリサイクルプロジェクトを5月の展示会以降に進めていく計画です。

**社会貢献を行うなら、
工・製・販が一体となり、
行政とタッグを組んで**

事務局 ありがとうございます。続いて、社外のSDGsについて、兵庫県電設資材卸業協同組合の理事長でもあ

る小林義昭社長にお伺いします。以前、兵庫電材組合として、「子ども食堂応援プロジェクト」を実施されていましたが、どのような経緯で始まったのですか？

小林社長 2018年6月に兵庫県の職員の方から、「子ども食堂を温かい空間で食べさせてあげる事は出来ないか？」との話を頂きました。そこで、子ども食堂の照明器具を調光が可能なLED照明に取り換えるプロジェクトを工・製・販座談会で提案し、賛同を得てスタートしました。

また、兵庫県中小企業団体中央会からもバックアップを頂き、合計で10箇所以上に設置する事が出来ました。新型コロナウイルス感染拡大の影響でプロジェクトは止まってしまいましたが、コロナが落ち着いたら、県からの要請があれば、改めて対応したいと思っています。

事務局 工・製・販の三位一体となった凄く素敵な社会貢献活動だと思います。他にも社会貢献活動はされているのですか？

小林社長 以前、兵庫県立大学に訪

小林電工(株)様から伺った SDGsを取り組むポイント

1. SDGsを社内に浸透させるには、ポスターの作成・掲載やバッジを配布し、まずは、SDGとは何か、私達ができるSDGsは何かを考えたいような雰囲気や仕掛け作りが必要。
2. 地域への社会貢献は、組合として、または工・製・販でタッグを組み、行政と共に行う(スケールメリット)方が、より効果の高い社会貢献が出来る。



問し、HEMS(へムズ)の認知度拡大のため、メーカー様、工事組合様と組んで、出張講義を行った事があります。システムを広めるだけでなく、学生の電気に対する意識を知る良いきっかけになりました。

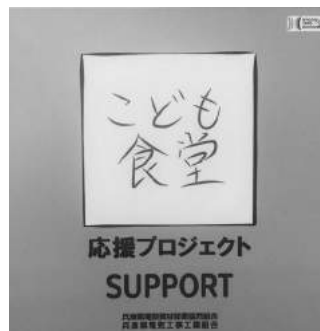
事務局 電材業界の認知度UPにも繋がる素晴らしい活動だと思えます。他の単組や若手経営者の会でも行いたいと思っている方は多いと思いますが、活動を行う際の留意点はありますか？

小林社長 今後もし、電材業界として、

地域の社会貢献を行うなら、各地区の工・製・販が一体となり、行政とタッグを組んで行うのが良いと思います。

ただ、仕事としての社会貢献活動なら無償で行うのは難しいかもしれませんが。私達の場合は、たまたま中央会からバックアップを頂きましたが、どこから費用の捻出を確保しないと、賛同は得にくいかもしれません。

事務局 ありがとうございます。電材業界で社会貢献を行うための大きなヒントになると思います。



※掲載順は、2021年6月に「会社名+SDGs」と組合員全社をグループ検索し、SDGsの取り組みを確認出来た会社様へ取材願いの連絡を行い、取材許可を頂いた先着順で掲載させて頂いております。

SDGsに取り組み、取材許可を頂ける会社様がございましたら、全社伺わせて頂きます。令和4年8月末までに全日電材連・事務局・伊達までご連絡下さい。

(03-35541-7192)